

地域対抗 6年生選抜大会

(一面より)

試合終了後、船橋球場へ移動し、閉会式に参加しました。表彰式では決定戦で負けましたが、規定により三位の表彰を受け全員が河崎理事長より銅メダルを授与されました。なお、優秀選手には船橋Aチームから2ホーマーを含む投打の活躍により酒巻太一君(小室ライオンズ)が選ばれ鈴木千葉県野球連盟理事長より表彰状とメダルを授与されました。

今回、スタッフとして参加いただいた皆様及び所属チームには多大なご協力をいただき大変感謝しています。紙面を借りてお礼申し上げます。

また、初のセレクション

僕は、初めて船橋選抜に選ばれた。しかも予想もしていなかったキャプテンを任された。この話を聞き、すごく嬉しい気持ちで一杯になった。でも、最初はとても心配だった。まったく知らない人とう

選抜大会に参加して

船橋選抜Aキャプテン

古澤 貴徳(三山パワーズ)

まくやれるかなーと思ったからだ。初練習の日、選抜に選ばれたみんながやって来た。初めて知り合ったけれど、すぐ仲良くなった。練習をやっていくうちにチームワークが出てきて、

試合マナー・規則等について 審判部長 須田 晴之

により結成したチームは合同練習も1日半しかできなかった中で準決勝戦まで進出し、一定の成果を出すことができました。今後船橋選抜を結成する場合参考にすることを検討したいと思

います。なお、大会結果は優勝、北総地域、準優勝、市川地域、第三位八千代地域・船橋A地域でした(詳しくは学童部のホームページをご覧ください)。(広報部 國信)



(広報部 國信)

大会開催にあたり日頃気がついたことを次のとおりまとめてみました。一 はじめに 大会規約等をよく確認して試合に臨んでいただきたい(年度替りて監督が交代した場合は、次期監督への申し送りを徹底していただきたい)。

・集合時間の厳守原則、試合開始予定一時間前) ・試合前、試合後のチーム審判の手配。 ・ベンチ内に入れる大人の人数制限。 ・監督、コーチの背番号の徹底(低学年大会は、背番号無しのコーチ二名増員可)。

・フィールド内での練習について ・フィールド内の決めら

・シートノックの際、捕手はプロテクター、レガース、ヘルメットを必ず着用すること(ヘルメットを着用していないことが、時々見受けられる)。

・最近試合前のグラウンド整備が終わった際、選手が整列して「グラウンド整備ありがとうございます」といって挨拶する声がある。このことは子供たちに感謝の気持ちを育むと同時に整備した側にとって励みになるので紹介しておきます。

・喫煙は所定の場所で行うこと(代表者、監督会議での申し合わせ事項)。

・指導者、父母、審判員について

特別寄稿 船橋の女子野球

宮本 ビーバース 荒井 義一

手元に私が編集した平成3年版の学童部夏季大会の選手名鑑(NTTが出版)がある。

ペラペラとめくると習志野台スターズの欄に女子選手が2名登録されている。飯沼代表のお嬢さん他である。

その大会は参加58チームで登録選手は約一、〇〇〇名、名鑑から丹念に女子選

告げること。ベンチ内はもちろんのこと、ベンチを出て喫煙及び携帯電話の使用はできない(一旦ベンチを出た場合は、再びベンチ入りすることはできない)。

試合中に選手に対して不適切な言葉(例えばバカ呼ばわり)で罵倒しないこと。

打者は、バッターボックス内でベンチ等からのサインを見ること。



大切さもよくわかった。これからもっと腕をみがいで、頂上に立ちたいと思っています。

僕は、この選抜に選ばれた。

対戦相手は北総だった。この試合は、絶対負けられない試合だった。勝てば船橋運動公園で決勝ができたからだ。でも、負けてしまった。上には上がいることがわかったし、試合の流れの

思うから、腕が縮んで、うちの子は出塁率が七割です。よ。八八八...という会話をあれから15年たった今でも鮮明に覚えている。

その子が船橋の少女選手第一号である。

が、昭和50年代前半に、若松ヤングーズに少女チームがあったことを忘れていた。当時は団地ブームで子供がうじゃうじゃいた。現

J R南船橋駅前の空き地の四隅にネットを張り百数十名の選手が練習や試合をしていた。監督の富澤氏に、どうして女の子のチームを作ったの?と聞いた。女の子も野球をやりたいと入ってきたからさ。

と明快な返事だった。「試合は?」。「閉団連に加盟しているチームを探して、マイクロボスで遠くまで行ったよ...」。「何年くらい続いたの?」。「4年かな...」

だけど、学童部草創期の資料を繕いても公式大会出場の記事はない。

少子化とそれに追い打ちをかけるように、Jリーグが創設されサッカーブームとなり、どこも部員が激減、最盛期に71チームあったのが46チームとなってしまう。関係者は危機感から頭を抱えた。

私も日夜悩んだ。ある日、男子の数だけ女子がいるのだという発想から、平成11年春、20年間勤めた男子チームの監督を退き、女子チームエンゼルビーバースを結成した。

男子すら集めるのに困難な時代に女子の募集は大変

だった。野球は男子のスポーツ」という観念が厚い壁となっている。

が、学童部河崎理事長の決断で、その市内のチームに散在する女の子を一同に会し少女オールスターを開催してくれた。その好意は心から嬉しかった。

それを契機に、次の年IBA本部よりフイリピンから少女チーム来日という朗報が入った。私はその打合せにマニラへ飛んだ。

平成12年7月27日、第一回少女世界大会を江戸川区営球場で開催した。開会式には秋篠宮殿下がご臨席された。参加はフイリピン、オール江戸川、オール船橋の三チームで、巴戦の結果フイリピンが優勝した。内緒だがフイリピンチームには中学生が何人か入っていたそう。そのフイリピンの選手を我がエンゼルビーバースの家庭にホームステイをした。薬田台公園でも八千代市の大和田スカイレットを招き親善大会を行った。これが縁で千葉県少女連盟が結成されたのである。

現在、県下には八千代市に大和田スカイレット、勝田ラッキーハニーズ、それにオール船橋レディースの三チームしかない。以前は千葉市の宮野木ビーバースに少女チームがあったが消滅してしまった。県の少年野球連盟にも啓蒙と開発をお願いしているのだが、女子野球に対する理解が乏しく、なかなか実現に至らない。

それでも、19年度からは

オール佐倉が大会に参加するといふし、習志野市も検討中という。

IBA船橋も少女野球に非常に積極的で、特筆されるのは平成17年春の台湾遠征へ男子に混じって宮本ビーバース、みゆきファルコンズ、田喜野井ファイターズ、藤上ベアーズより女子選手が海を渡った。みなオール船橋レディースのメンバーである。台湾での6戦のうち2戦を少女投手が先発し1勝1分けの成績、また唯一のホームランはこれまた少女選手!で大変台湾の関係者に感心されました。

参考までにオール船橋レディースの戦績は 千葉県少女大会では優勝3回、準優勝3回、IBA関東大会で優勝3回、準優勝2回である。このトロフィーや盾が私の家の客間に飾ってある。



因みに、前述の習志野台スターズの飯沼嬢は中学、高校、大学と野球をつづけ、現在は関東女子軟式野球連盟に属する「千葉マリリンスターズ」のプレイングマネージャーとして活躍している。